



We Know SENDAI

輸送用機器関連商品の開発・生産・販売を担う

株式会社ミツバ
事業企画部 部長

MITSUBA

吉田 仁一氏

高い技術力で自動車やバイクの モーターなどを開発

当社では輸送用機器関連商品の開発・生産・販売を行っています。中心となっているのは自動車とバイクのモーターや電装品です。自動車のワイパーやパワーウインドウ、ファンモーター関係の製品も手掛けています。バイク用のスターターモーターは世界一のシェアを誇っています。当社は創業以来、自動車とバイクのモーター系の開発に注力しており、小型化、軽量化を実現するなど、高い技術力を持っていることが強みとなっています。現在、自動車業界は100年に1度の変革時期といわれており、自動車の電動化と共に、これまで油圧などの液体で制御していたものがモーターによる制御へと切り替わっています。また、自動運転化に伴い、自動車1台当たり搭載されるモーターの数は飛躍的に増える傾向にあります。バイクにおいても同様です。そのような状況のなか、今後必要とされるモーターの開発・生産を手掛けていることも、当社の将来に対する強みといえるでしょう。

変革に備える拠点が『仙台研究開発センター』

『仙台研究開発センター』は2018年4月1日に6名体制でスタートしました。現地採用の3名を含む全員が正社員として職務に当たっています。設立した目的は、コネクティビティ(接続性)、オートノマス(自動運転)、シェアード(共有)、エレクトリック(電動化)の頭文字をとった「CASE」といわれる自動車業界の変革にいち早く対応するためです。当社では現在、カメラを用いて加重を受け無くとも障害物を検出するとモーターが反転するパワーウインドウモーターやパワースライドドアシステムなどの電子制御ユニットを内蔵する製品も手掛けていますが、まだ少ないのが現状です。自動運転への移行が進めば、制御



系を内蔵した部品やスマートフォンで操作できる通信機能を持ったモーターなどが求められることでしょう。そこで、進化したモーターを作るうえでの様々な課題を解決するために、優秀な人材が豊富な仙台に研究開発センターを構えました。

進出に当たっては、2年前から仙台で事業を展開しているグループ企業の『株式会社両毛システムズ』が、Uターン組を含めて、優秀な人材を順調に採用できていることが進出の決め手となりました。当社が研究開発拠点を置いている横浜には、欧州や米国のメガサプライヤーが進出し、西日本では国内の大手企業が採用を進めていることから、雇用が難航していたことも背景にあります。仙台市からは東北大学との連携をサポートしていただいたほか、一緒に技術開発ができる産業技術総合センターや3Dプリンターなどの民間ベンチャー企業も紹介していただきました。東北大学とはすでに自動車の走行安全に貢献する技術の開発に取り組みはじめており、企業を成長させるために技術を高めていきたい当社にとって地元ならではのパイプを繋いでいただけたことが一番の喜びです。また、仙台市の復興へ向けた強い思いもあり、産学官連携をスムーズに進めていける環境も魅力です。

優秀な人材と共に仙台でさらなる成長を目指す

自動運転などが生まれてくる今後の10年間を自動車産業における最大の変革期ととらえ、『仙台研究開発センター』から新たな付加価値を生む製品を創出していきたいと考えています。『仙台研究開発センター』独自で動ける体制づくりを目指して、ここ2年ぐらいで20名規模にし、開発や生産に関する装置も拡充していきたいです。

仙台には「自動車産業の研究開発をしたかった」というUターン組も含め、優秀な人材が豊富です。自動車関連はもちろん、IT産業における情報の交流も盛んです。好条件が揃っている仙台への進出はお勧めできますし、企業を成長させていくには最適の場所だと考えています。ただ、当社としては優秀な人材を他社にとられてしまうことが懸念材料ですね(笑)。

(2018年7月26日取材)

[お問合せ]

仙台市経済局企業立地課
仙台市総務局東京事務所
仙台市企業進出ガイド

TEL 022-214-8245 / E-mail kei008040_13@city.sendai.jp
TEL 03-3263-5765 / E-mail som001310@city.sendai.jp
<http://www.city.sendai.jp/invest/>